

JALSG参加施設において新規に発症した全AML、全MDS、全CMML 症例に対して施行された治療方法と患者側因子が5年生存率に及ぼす影響を検討する観察研究(前向き臨床観察研究)

本研究の対象に該当する可能性が有る方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせください。

名古屋記念病院 血液化学療法内科 粥川 哲
電話:052-804-1111

研究課題名	JALSG参加施設において新規に発症した全AML、全MDS、全CMML 症例に対して施行された治療方法と患者側因子が5年生存率に及ぼす影響を検討する観察研究(前向き臨床観察研究)
研究の内容	JALSG参加施設において新規に診断された全ての急性骨髄性白血病(AML、WHO2016分類による定義)と骨髄異形成症候群(MDS、WHO2016分類による定義)、慢性骨髄単球性白血病(CMML、WHO2016分類による定義)を前向きに登録し、現在の一般臨床におけるAML、MDS、CMMLの5年生存率を明らかにする観察研究を実施する。また、行われた治療内容と併存症が5年生存率に及ぼす影響について検討を行う。
研究依頼者	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 血液内科 横山 寿行
研究責任者	血液・化学療法内科 部長・副院長 粥川 哲
研究分担者	血液・化学療法内科 科長 吉田 嵩 血液・化学療法内科 医員 丸茂 義晃 血液・化学療法内科 医員 松永 尚大
倫理審査	西暦2020年 4月 7日
研究予定期間	西暦2020年 4月 7日 ~ 西暦2026年 3月31日
公表	研究結果は、学会や論文で発表されることがあります。
プライバシー	本研究では、名前、住所、電話番号などの個人情報は使用しません。
利益相反	本研究における、研究責任者、分担医師いずれにおいても、開示すべて利益相反はありません。
問い合わせ	本研究について詳しく知りたいときは、下記までご連絡ください。 電話052-804-1111 血液化学療法内科 粥川 哲